



グローバル・フードバリューチェーン 推進官民協議会

日本貿易振興機構（JETRO）メキシコ事務所
貿易促進ダイレクター

深澤竜太

2025.6.12



メキシコ概要

人口：約**1.27億人**（世界10位、日本は1.25億人で11位）

→日本食にアクセス可能な人口は上位10%の約**1,300万人**と予測

日系人：約79,000人（世界6位）

名目GDP：1.4兆ドルで世界12位

言語：スペイン語

（米州のスペイン語話者約5億人
1位メキシコ、2位米国）

面積：日本の約5倍



メキシコ概要

宗教：ほぼキリスト教カトリック（食事の制限なし）

アクセス：成田⇔メキシコシティの**直行便が毎日運航**（約13時間）

訪日観光客：**約150,000人**（2024年）
← 約30,000人（2014年）

進出日系企業拠点数：1,498拠点で**世界11位**
（約5割が製造業、中国・米国・アジアを除くとドイツの次に多い）

平均年齢：**約29歳**

シェインバウム大統領新政権（2024年10月～、6年間）



メキシコにおける日本食材 – 日本産食材サポーター店

日本国外にある、日本産食材や酒類を使用／販売している、レストラン／小売り店を「日本産食材サポーター店」として認定する制度。



2025年5月末時点
全世界で**5,104**店舗登録

	合計		合計
1 オーストラリア	1,804	6 米国	153
2 香港	1,221	7 フランス	94
3 フィリピン	383	8 台湾	87
4 マレーシア	226	9 トルコ	75
5 メキシコ	180	10 シンガポール	70

メキシコにおける日本食材 – 日本産食材サポーター店

日本国外にある、日本産食材や酒類を使用／販売している、レストラン／小売り店を「日本産食材サポーター店」として認定する制度。

メキシコの登録店舗インタビュー記事



TOYO FOODS PROVIDENCIA店

「世界と触れ合う体験」を提供する日本食材店



Restaurante Sato

日本食への深い理解と現地感覚の融合が生み出す本格派レストラン



Izakaya GOEN

メキシコの地方都市を代表する本格派日本食レストラン

2025年度、メキシコ人オーナーの店舗インタビューも追加予定

メキシコにおける日本食材 – 主要な日本・アジア食材プレーヤー



ジェイエフシー・デ・メヒコ

- キックマングループ
- メキシコ国内全土の配送網
- 大手スーパーへ納品



コメルシアル・トヨ / トヨ・フーズ

- 日本やアジア複数国、米国から輸入
- 国内約50店舗の直営店を営業
- 大手スーパーへ納品



クメ・インポルタシオネス

- 日系人が経営しているためメキシコ地場系や日系人社会に強い
- 日本産酒類の取り扱い数は最多



SUKIYA すき屋 (ゼンショーメキシコ)

- メキシコで現状唯一の日本食チェーン、20店舗以上展開
- 日本産精米輸入解禁後、利用米を日本産に切り替え

参考：[メキシコすき家、全22店舗で日本産米に切り替え\(日本、メキシコ\)](#)

→ 2025年度、メキシコ外食産業（フランチャイズビジネス）に関する調査をJETROメキシコで実施予定。

日本からメキシコへの輸出：貿易協定、和牛

■貿易協定

- **低い関税率または無税**で輸入できるケースが多い
- 日メキシコ経済連携協定（**日墨EPA**） または
環太平洋パートナーシップに関する包括的および先進的な協定（**CPTPP**）
- HSコード毎の関税率を確認の上、どちらを活用するか選択

■和牛

- 日本産和牛への**関心高まり**（リゾート地など）
- 「**Wagyu**」の**知名度**はあるものの、必ずしも日本産ではない場合も
- メキシコ向け輸出認定加工施設は**国内8県11カ所**
（岩手、群馬、岐阜、兵庫、熊本、大分、宮崎、鹿児島）
- インフレ抑制目的で、現状**2025年12月末まで関税0%**
- 肉に関連し、鶏・豚製品は日本から輸入不可



メキシコ市内高級スーパーの神戸牛
(JETRO撮影、2025年2月)

日本からメキシコへの輸出：水産物、コメ、酒類

■水産物

- 2018年・2020年に**手続き簡易化**（衛生証明書）
- メキシコで一般的ではない品目は検査対象となるリスクも
- 「Hotate」「Hamachi」「Buri」として認知
- **ハマチ・ブリは米国経由がほとんど**
- 現地寿司チェーンの増加もあり、**カニカマ・すり身等の需要増**

■コメ（精米のみ、玄米除く）

- **2023年3月より輸入解禁**（商業用、植物検疫証明書、燻蒸処理不要）
- カリフォルニア産米との価格差が縮まる
- 日系・メキシコ企業併せて**現状輸入業者は4社程度**
- その他野菜・果物は製茶を除き輸入不可

■酒類

- 「Sake」として認知。クラフトビールのニーズも。
- 焼酎・泡盛はCPTPP、清酒は日墨EPAの活用でそれぞれ無税に



メキシコ国内製造のSake「波」
（JETRO撮影、2025年2月）

メキシコバイヤーに米国関税の影響について聞く

アジア系食材を取り扱うメキシコバイヤーは、**米国経由で商品を仕入れているケースも多い**。米国関税による影響について4月末～5月上旬にヒアリングを実施。今後も動向・影響を注視。

💡 ポイント 💡

- 大部分の商品が米国経由で、**価格転嫁は免れない**
 - 日本産食材よりも**中国産食材の影響あり**。米国を経由しないルートでの調達または**他国商品の類似品転換**を検討している商品も。
 - **日本から直輸入できるルート・企業を探す**よう、関税政策以前から心掛けている。ただし、メーカーが希望しない場合や取り扱い数量を満たせずに**米国経由調達せざるを得ないケースも**。
 - 直接輸入時の**手続き・書類などの知識が不足**している点が課題。
- **CPTPP・EPA活用による、日本→メキシコ直送での低関税/無税での輸入が推奨**される。

(ビジネス短信2025年5月9日[米関税政策による影響と対応、メキシコの日本・アジア産食品関連企業に聞く](#))

ご案内①：輸出に関する制度・手続き情報

日本からメキシコへの各品目の輸出に関する制度・手続きについて情報掲載。現状は、**コメ、牛肉、水産物、アルコール飲料、調味料**。今年度新たに**菓子、畜産加工品**について新規ページを作成予定。



農林水産物・食品

日本からの輸出に関する制度



日本から農林水産物・食品を輸出するにあたり、メキシコの輸入に関する諸規制を、品目ごとに調べることができます。



コメ



畜産物



水産物



アルコール飲料



加工食品

ご案内②：海外コーディネーターによる輸出相談サービス

JETROが海外に配置する農林水産・食品分野の専門家（海外コーディネーター）が、ブリーフィング・Eメール相談を無料で行います。

■ ご相談対応

以下トピックについて、オンライン・対面でのブリーフィングまたはEmail書面回答でご対応

- 現地のトレンド、商習慣の違い
- 競合商品の有無
- 現地に売り込むためのヒント

■ メキシコの海外コーディネーター



メキシコ国内での日本食飲食店の経営、日本産精米・日本酒等の輸入を行う。2023年度よりJETROメキシコ農水コーディネーター。



ご清聴ありがとうございました

日本貿易振興機構（JETRO）メキシコ事務所
貿易促進ディレクター

深澤竜太

2025.6.12

